

参 考 资 料

外国人研修生の職業訓練に関する実態調査票 〔受入れ団体用〕

平成8年11月

ご協力をお願い

この調査は、労働省の要請を受けて当職業能力開発大学校が、外国人研修生の職業訓練の実態を把握するために実施するものです。

また、この調査の結果は全て統計的に処理しますので、ご迷惑のかかることはありません。ありのままをご記入して下さい。
お忙しいことと存じますが、ご協力の程よろしく申し上げます。

【記入に当たって】

1. この調査票は、外国人研修担当課長に送付しておりますが、他に適切な部署がある場合は、お手数ですが、その部署へお返し下さい。
2. この調査票は、以下の7つから構成されています。
 - ・ 団体概要
 - ・ 受入れ状況
 - ・ 受入れ体制
 - ・ 非実務研修
 - ・ 実務研修の指導等
 - ・ 研修成果
 - ・ 研修の問題点
3. 回答は、最近終了した研修を念頭においてご回答下さい。
4. 非実務研修につきましては、安全衛生・専門基礎のみについてお尋ねします。また、回答欄が、非実務研修と実務研修とに分かれている場合は、それぞれの研修についてお答え下さい。
5. 回答は、当てはまる番号に○を付けて下さい。また、空欄の には数字 () には具体的内容を記入して下さい。
6. 記入が終わりましたら、返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成8年12月20日までに 投函して下さい。
7. この調査について、ご不明の点がございましたら下記の担当者までお問い合わせ下さい。

職業能力開発大学校
研修研究センター 開発研究部

問6 研修生を受入れた理由は、何ですか（○は2つまで）。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | 自治体からの要請 |
| 2 | 海外進出対策 |
| 3 | 途上国に対する協力 |
| 4 | 国際的人材の育成 |
| 5 | 労働力対策 |
| 6 | 高齢化対策 |
| 7 | その他（具体的に： _____） |

【受入れ体制】

問7 研修生を受け入れるに当たって、最も力を入れた対策は何ですか（○は該当するもの全てに）。

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 企業に海外の情報を提供した。 |
| 2 | 受入れ対策の説明会等を開催した。 |
| 3 | 調査のため送出国に研修担当者を派遣した。 |
| 4 | 研修生受入れのための準備委員会等を設置した。 |
| 5 | 研修生用、指導者用にマニュアルを作成した。 |
| 6 | 研修生用の教材を作成した。 |
| 7 | 担当職員を（財）国際研修機構のセミナーに参加させた。 |
| 8 | 指導員のための語学講座を開設し、受講させた。 |
| 9 | 母国語のできる人材を採用した。 |
| 10 | その他（具体的に： _____） |

問8 送出国及び研修生の技能レベルを主にどのようにして把握しましたか（○は2つまで）。

（直接に把握する場合）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 送出国の工場見学 |
| 2 | 研修予定者との面談 |
| 3 | 研修予定者に対する技能試験の実施 |
| 4 | 職業適正検査の実施 |
| 5 | （財）国際研修機構から送出国の情報の収集 |
| 6 | 研修生の履歴書、経歴書の確認 |
| 7 | 送出国への研修生選抜基準の提示 |
| 8 | 他の団体から情報の収集 |
| 9 | その他（具体的に： _____） |

問9 研修計画は、どのようにして作成しましたか（○はそれぞれ1つ）。

非実務 実務

- | | | |
|---|---|-----------------------------------|
| 1 | 1 | 受入れ企業が作成した。 |
| 2 | 2 | 関係機関等に委託して作成した。 |
| 3 | 3 | 受入れ企業の研修担当者の協力により作成した。 |
| 4 | 4 | 他の団体の計画をモデルにして作成した。 |
| 5 | 5 | （財）国際研修機構発行のカリキュラム事例集をモデルにして作成した。 |
| 6 | 6 | 民間コンサルタントに依頼して作成した。 |
| 7 | 7 | 独自に作成した。 |
| 8 | 8 | その他（具体的に： _____） |

問10 研修計画の作成に当たり、どこに相談しましたか（○は2つまで）。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 既に受け入れていた他の団体 |
| 2 | (財)国際研修協力機構 |
| 3 | 公共職業訓練施設 |
| 4 | 職業訓練法人 |
| 5 | その他(具体的に:) |
| 6 | 特に相談しなかった。 |

問11 計画を作成するとき、どのような点に問題がありましたか（○は2つまで）。

- | 非実務 | 実務 |
|-----|--------------------|
| 1 | 1 研修科目及び研修内容の構成の仕方 |
| 2 | 2 研修科目の時間数の配分の仕方 |
| 3 | 3 教材及び補助教材の選定 |
| 4 | 4 研修実施予定表の作成 |
| 5 | 5 講師の確保 |
| 6 | 6 研修会場の確保 |
| 7 | 7 委託先の情報不足 |
| 8 | 8 その他(具体的に:) |

以下の質問は、非実務研修のうち、安全衛生・専門基礎についてお尋ねします。

【非実務研修】

問12 非実務研修の一部を外部に委託しましたか（○は1つ）。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | した。 |
| 2 | しなかった。 ——— 問 17 へ |

委託した時間数は、非実務研修時間の何%ですか。
(○は1つ)

- | | |
|---|---------|
| 1 | 10%未満 |
| 2 | 10~29% |
| 3 | 30~49% |
| 4 | 50~69% |
| 5 | 70~89% |
| 6 | 90~100% |

問13 どこに委託しましたか（○はいくつでも）。

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 公共職業訓練施設 |
| 2 | 工業試験場または研究機関 |
| 3 | 民間の研修施設 |
| 4 | 市町村 |
| 5 | 個人 |
| 6 | その他(具体的に:) |

問14 委託した理由は、何ですか（○は2つまで）。

- 1 適切な施設・設備がないため
- 2 適切な講師、専門家がないため
- 3 研修教材の整備が難しいため
- 4 経費が安い
- 5 研修に専任スタッフを配置できないため
- 6 公的援助を受けなければいけないため
- 7 その他（具体的に： _____）

問15 委託先での研修の状況をどのように把握しましたか（○は1つ）。

- 1 時々研修を見学した。
- 2 定期的に研修を見学した。
- 3 時々報告を受けた。
- 4 定期的に報告を受けた。
- 5 委託終了後に報告を受けた。
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 特別何もしていない。

問16 委託先に対して、特にどんな点に配慮するよう指導しましたか（○は2つまで）。

- 1 研修生の習得度の把握
- 2 研修生の能力にあった研修運営
- 3 安全に対する配慮
- 4 健康管理の把握
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 何も指導しなかった。

【実務研修の指導等】

問17 受入れ企業に対して、実際の研修進捗度、研修生の研修態度等を把握するため、どのくらい巡回指導をしましたか（○は1つ）。

- 1 1か月に1回
- 2 2か月に1回
- 3 3か月に1回
- 4 4か月に1回
- 5 実施しなかった。
- 6 その他（具体的に： _____）

問18 受入れ企業の研修担当責任者との打合せ会議等を、どのくらい実施しましたか（○は1つ）。

- 1 1か月に1回
- 2 2か月に1回
- 3 3か月に1回
- 4 4か月に1回
- 5 必要に応じて実施した。
- 6 実施しなかった。

【研修成果】

問19 外国人研修は、当初の目標に対しどの程度達成できましたか（○は1つ）。

- | | | | |
|---|--------------|--------------------------|--------|
| 1 | 十分に達成した。 | <input type="checkbox"/> | 問 21 へ |
| 2 | ほぼ達成した。 | <input type="checkbox"/> | |
| 3 | あまり達成しなかった。 | <input type="checkbox"/> | 問 20 へ |
| 4 | ほとんど達成しなかった。 | <input type="checkbox"/> | |

問20 当初の研修目的を達成できなかった原因は、何だと思えますか（○は2つまで）。

- | | | |
|----|---------------|---|
| 1 | 研修内容が不適切 | |
| 2 | 研修時間の不足 | |
| 3 | 研修施設・設備が不十分 | |
| 4 | 教材が不適切 | |
| 5 | 指導技法が不適切 | |
| 6 | 研修生の研修意欲が不十分 | |
| 7 | 指導者の不適切 | |
| 8 | 指導者の配置が不十分 | |
| 9 | 指導者と研修生との人間関係 | |
| 10 | その他（ | ） |

【研修の問題点】

問21 いままで、外国人研修生を受け入れて、どんな問題がありましたか（○は幾つでも）。

- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 1 | 研修生の能力に合った研修計画がたてづらい。 | |
| 2 | 委託先の確保が難しい。 | |
| 3 | 外部への委託費用が高い。 | |
| 4 | 傘下企業の研修生を集めた集合研修の開催会場の確保が難しい。 | |
| 5 | 非実務研修の期間が短い。 | |
| 6 | 実務研修の期間が短い。 | |
| 7 | 適任の講師がいない。 | |
| 8 | テキスト教材が不足している。 | |
| 9 | 安全の確保に苦勞する。 | |
| 10 | 研修生に研修意欲が見られない。 | |
| 11 | 研修生の日本語能力が劣っている。 | |
| 12 | 研修職種と全く違った職歴の研修生が派遣されてくる。 | |
| 13 | 企業側のスケジュール通りに研修生の受入れができない。 | |
| 14 | 文化の違いによるトラブルが発生した。 | |
| 15 | 受入れ企業側の研修に対する理解がうすい。 | |
| 16 | その他（具体的： | ） |

※外国人研修生受入れについて、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

--

※以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

団 体 名			
担 当 部 署		氏 名	
貴団体所在地 TEL			

外国人研修生の職業訓練に関する実態調査票 〔受入れ企業用〕

平成8年11月

ご協力のお願い

この調査は、労働省の要請を受けて当職業能力開発大学校が、外国人研修生の職業訓練の実態を把握するために実施するものです。

また、この調査の結果は全て統計的に処理しますので、ご迷惑のかかることはありません。ありのままをご記入して下さい。

お忙しいことと存じますが、ご協力の程よろしく申し上げます。

【記入に当たって】

1. この調査票は、外国人研修担当課長に送付しておりますが、他に適切な部署がある場合は、お手数ですが、その部署へお返し下さい。
2. この調査票は、以下の8つから構成されています。
 - ・企業概要
 - ・受入れ状況
 - ・受入れ体制
 - ・非実務研修
 - ・実務研修
 - ・研修の問題点
 - ・技能実習への取組み
3. 回答は、最近終了した研修を念頭においてご回答下さい。
4. 非実務研修につきましては、安全衛生・専門基礎のみについてお尋ねします。また、回答欄が、非実務研修と実務研修とに分かれている場合は、それぞれの研修についてお答え下さい。
5. 回答は、当てはまる番号に○を付けて下さい。また、空欄の □ には数字 () には具体的内容を記入して下さい。
6. 記入が終わりましたら、返信用封筒に入れて、切手を貼らずに 平成8年12月20日までに投函して下さい。
7. この調査に関して、ご不明の点がございましたら下記の担当者までお問い合わせ下さい。

職業能力開発大学校
研修研究センター 開発研究部

【企業概要】

問1 貴社の業種はどれですか（○は1つ）。

建設業

- 1 土木・舗装・建築
- 3 鉄骨・鉄筋
- 5 電気・通信
- 7 その他の建設業

- 2 大工・とび
- 4 れんが・左官
- 6 管工事

製造業

- 8 食料品・飲料
- 10 繊維・衣服
- 12 木材・家具
- 14 化学・石油 ゴム・プラスチック
- 16 窯業・土石
- 18 その他の製造業

- 9 鉄鋼・非鉄・金属
- 11 一般機械
- 13 電気機械
- 15 輸送用機械
- 17 精密機械

他の産業

- 19 運輸・通信業
- 21 金融・保険・不動産業
- 23 その他

- 20 卸売・小売業・飲食店
- 22 サービス業

問2 従業員数は、何人ですか（○は1つ）。

- 1 4名以下
- 2 5～9名
- 3 10～19名
- 4 20～49名
- 5 50～99名
- 6 100～299名
- 7 300名以上

【受入れ状況】

問3 貴社は、平成7年に研修生を何人、何職種を受入れましたか。数字を記入して下さい。

研修生数 ; 人

職種数 ; 職種

問4 研修時間は、それぞれ何か月くらいですか。月数を記入して下さい。

非実務研修 ; か月

実務研修 ; か月

合計 ; か月

問5 研修生を受入れた理由は、何ですか（○は2つまで）。

- | | | |
|---|---------------------|--|
| 1 | 現地合弁企業からの人材育成の要請 | |
| 2 | 受入れ団体を通じて地方自治体からの要請 | |
| 3 | 今後の海外進出への対応 | |
| 4 | 労働力対策 | |
| 5 | 高齢化対策 | |
| 6 | 人件費対策 | |
| 7 | 国際貢献 | |
| 8 | その他（具体的に： _____） | |

問6 今までに、どこの国から、何回受け入れましたか。送出国の番号に○を付けて、その回数を記入して下さい。

- | | | | |
|---|-------------|--|---|
| 1 | 中国 | | 回 |
| 2 | インドネシア | | 回 |
| 3 | フィリピン | | 回 |
| 4 | ベトナム | | 回 |
| 5 | タイ | | 回 |
| 6 | マレーシア | | 回 |
| 7 | その他（ _____） | | 回 |

問7 どこの団体を窓口にして、研修生を受け入れましたか（○は1つ）。

- | | | |
|---|------------------|--|
| 1 | 地方公共団体 | |
| 2 | 商工会議所 | |
| 3 | 商工会 | |
| 4 | 事業協同組合等の中小企業団体 | |
| 5 | 財団法人・社団法人 | |
| 6 | 職業訓練法人 | |
| 7 | 自社単独 | |
| 8 | その他（具体的に： _____） | |

【受入れ体制】

問8 研修生受入れに当たって、最も力を入れた対策は何ですか（○は2つまで）。

- | | | |
|----|-------------------------------------|--|
| 1 | 研修担当者を送出国に調査のため派遣した。 | |
| 2 | 社内に語学講座を開設し、指導者に受講させた。 | |
| 3 | 社内に研修生受入れのための準備委員会等を作った。 | |
| 4 | 社員に海外の情報を提供し、異文化の啓蒙をした。 | |
| 5 | 研修生受入れ予定の部門の社員に、受入れ状況を説明し、意識作りに努めた。 | |
| 6 | 研修生用の生活マニュアルを作成した。 | |
| 7 | 指導者用の指導マニュアルを作成した。 | |
| 8 | 研修生用の教材を作成した。 | |
| 9 | 母国語のできる人材を採用した。 | |
| 10 | 研修担当者に（財）国際研修協力機構のセミナーを受講させた。 | |
| 11 | その他（具体的に： _____） | |
| 12 | 特に何もしなかった。 | |

問9 研修計画を作成するに当たって、研修生の技能レベルをどのようにして把握しましたか（○は2つまで）。

- | | |
|----|------------------|
| 1 | 送出国の工場見学 |
| 2 | 研修予定者との面談 |
| 3 | 研修予定者に対する技能試験の実施 |
| 4 | 職業適性検査の実施 |
| 5 | JITCOから送出国の情報の収集 |
| 6 | 研修生の履歴書、経歴書の確認 |
| 7 | 送出機関へ研修生選抜基準の提示 |
| 8 | 受入れ団体から情報の収集 |
| 9 | 他の団体、企業から情報の収集 |
| 10 | その他（具体的に： _____） |

問10 研修計画をどのように作成しましたか（○はそれぞれ1つ）。

非実務 実務

- | | | |
|---|---|-------------------------------------|
| 1 | 1 | 受入れ団体が作成した。 |
| 2 | 2 | 関係機関等に委託して作成した。 |
| 3 | 3 | 他の団体の計画をモデルにして作成した。 |
| 4 | 4 | （財）国際研修協力機構発行のカリキュラム事例集をモデルにして作成した。 |
| 5 | 5 | 民間コンサルタントに痛くして作成した。 |
| 6 | 6 | 独自に作成した。 |
| 7 | 7 | その他（具体的に： _____） |

問11 計画を作成するとき、どのような問題がありましたか（○はそれぞれ2つまで）。

非実務 実務

- | | | |
|---|---|------------------|
| 1 | 1 | 研修科目及び研修内容の構成の仕方 |
| 2 | 2 | 研修科目の時間数の配分の仕方 |
| 3 | 3 | 教材及び補助教材の選定 |
| 4 | 4 | 研修実施予定表の作成 |
| 5 | 5 | 講師の確保 |
| 6 | 6 | 研修会場の確保 |
| 7 | 7 | 委託先の情報不足 |
| 8 | 8 | その他（具体的に： _____） |
| 9 | 9 | 特に問題はない。 |

次の問12～問17については、非実務研修のうち、安全衛生・専門基礎についてお尋ねします。

【非実務研修】

問12 非実務研修の研修到達目標は、どのあたりにおきましたか（○は2つまで）。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | 安全に機械の基本作業ができる。 |
| 2 | 安全に器工具の取扱いができる。 |
| 3 | 工場内の安全標識が分かる程度 |
| 4 | 設備・機械の日本語名称が分かる。 |
| 5 | 指示した内容が分かる。 |
| 6 | その他（具体的に： _____） |

問13 非実務研修は、どのように実施しましたか（○は1つ）。

- 1 会社内ですべて実施した。 — 問 18 へ
- 2 外部に委託した。

委託した時間数は、非実務研修時間の何%ですか（○は1つ）。

- 1 10%未満
- 2 10～29%
- 3 30～49%
- 4 50～69%
- 5 70～89%
- 6 90～100%

問14 どこに委託しましたか（○は1つ）。

- 1 公共職業訓練施設
- 2 工業試験場または研究機関
- 3 民間の研修施設
- 4 市町村
- 5 個人
- 6 その他（具体的に： _____）

問15 委託した理由は、何ですか（○は2つまで）。

- 1 社内に適切な機材設備がないため
- 2 経費が安い
- 3 専門家がないため
- 4 社員は繁忙のため、研修に配置できないため
- 5 受入れ団体が一括委託しているため
- 6 研修受入に際し、公的援助を受けなくてはならないため
- 7 その他（具体的に： _____）

問16 委託先での研修の状況をどのように把握しましたか（○は1つ）。

- 1 時々研修を見学した。
- 2 定期的に研修を見学した。
- 3 時々報告を受けた。
- 4 定期的に報告を受けた。
- 5 委託終了後に報告を受けた。
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 特別何もしなかった。

問17 委託していた研修生が現場に配属されたとき、受入れ現場は委託研修の成果をどのように受けとめていましたか（○はそれぞれ1つ）。

安全衛生

- 1 期待通り安全作業ができる。
- 2 安全の重要性を理解している。
- 3 安全用語が分かる。
- 4 安全に多少不安を感じた。

専門基礎

- 1 基本的原理を習得している。
- 2 基礎技能・知識を習得している。
- 3 作業用語が分かる。
- 4 多少習得不足を感じた。

次の問18～問21については、企業内での非実務研修についてお尋ねします。

問18 非実務研修は、主としてどの形式で行いましたか（○は1つ）。

- 1 講義のみ
- 2 講義＋討議
- 3 講義＋演習
- 4 講義＋実習
- 5 その他（具体的に：_____）

問19 非実務研修で使ったテキストは、何ですか（○は1つ）。

- 1 会社で独自に作成したテキスト
- 2 市販のテキスト

_____ テキスト名及び出版社名を（ ）内に記入して下さい。

安全衛生（テキスト名：_____ 出版社名：_____）

専門基礎（テキスト名：_____ 出版社名：_____）

問20 よく使った補助教材はどれですか（○は2つまで）。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 資料・手引書 | 2 図・表 | 3 グラフ |
| 4 絵・写真 | 5 テープレコーダー | 6 スライド・OHP |
| 7 ビデオ・テレビ | 8 模型・断面模型 | 9 標本 |
| 10 その他 | | |

（具体的に：_____）

問21 研修生を指導する上で、特にどんな点に配慮しましたか（○は2つまで）。

- 1 ゆっくりと、はっきり話す。
- 2 繰り返し話す。
- 3 視覚にうったえる。
- 4 一度に多くの内容を教えない。
- 5 易しい内容から難しい内容へと教えていく。
- 6 確かめる。
- 7 質問を受ける。
- 8 良くできたらほめる。
- 9 その他（具体的に：_____）

【実務研修】

問22 研修生の訓練目標は、どのあたりにおきましたか（○は1つ）。

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 指示すれば、作業ができる。 |
| 2 | 指示すると一通りの仕事ができる。 |
| 3 | 一人で段取りをつけ、一人で仕事ができる。 |
| 4 | 異常に気づき、その対策ができる。 |
| 5 | その他（具体的に： _____） |

問23 現場で、作業を指導した指導員の実務経験年数は、おおむね何年ですか。
また、どの職位の方が多いですか（それぞれ○は1つ）。

- | | | | |
|---|----------|---|------------------|
| 1 | 5年未満 | 1 | 部課長以上 |
| 2 | 5～10年未満 | 2 | 職長 |
| 3 | 10～15年未満 | 3 | 作業主任、グループ長、班長 |
| 4 | 15～20年未満 | 4 | 技能者 |
| 5 | 20年以上 | 5 | その他（具体的に： _____） |

問24 現場の指導は、どのような形で実施しましたか（○は1つ）。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | 個別指導 |
| 2 | 集合指導 |
| 3 | 個別指導と集合指導の組合せ |
| 4 | その他（具体的に： _____） |

問25 作業を教えるとき、最も効果があった教材はどれですか（○は2つまで）。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | テキスト |
| 2 | 作業用マニュアル |
| 3 | 模型、製品サンプル |
| 4 | ビデオ等 |
| 5 | シュミレーター |
| 6 | 実物 |
| 7 | その他（具体的に： _____） |
| 8 | 何も使用しない。 |

問26 研修生に実務指導をする上で、特にどんな点に配慮しましたか（○は3つまで）。

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 教える前に、研修生の技能のレベルをつかむ。 |
| 2 | 研修意欲を高めるため、仕事への関心、興味を持たせる。 |
| 3 | ゆっくりと、はっきり話す。 |
| 4 | 繰り返し話す。 |
| 5 | 一度に多くのことを教えない。 |
| 6 | 易しい仕事内容から難しい仕事内容へと徐々に教えていく。 |
| 7 | 研修生がけがをしないよう、安全作業に心がける。 |
| 8 | 仕事の流れをつかませる。 |
| 9 | 確かめる。 |
| 10 | 質問を受ける。 |
| 11 | 良くできたらほめる。 |
| 12 | その他（具体的に： _____） |

問27 研修生に作業を教えるとき、どんな方法が最も効果がありましたか（○は3つまで）。

- 1 ビデオ等を使って作業の説明をした。
- 2 ポイントを話した。
- 3 仕事をゆっくり、分かるようにやってみせた。
- 4 やらせてみて、間違いを直してやった。
- 5 作業の急所、理由を説明した。
- 6 分からない点について、質問を受け、分かり易く説明した。
- 7 一度に多くのことを教えないようにした。
- 8 その他（具体的に： _____）

問28 研修生の技能評価は、どのような方法をとりましたか（○は1つ）。

- 1 技能検定試験の活用
- 2 社内での実技試験の実施
- 3 地域の技能競技会（コンクール）への参加
- 4 日常の製品等のできばえ
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 特になし

問29 外国人研修は、当初の目標に対して、どの程度達成できましたか（○は1つ）。

- 1 十分に達成した。 _____ 問 31 へ
- 2 ほぼ達成した。 _____
- 3 あまり達成しなかった。 _____ 問 30 へ
- 4 達成しなかった。 _____

問30 当初の研修目的を達成できなかった原因は、何だと思えますか（○は3つまで）。

- 1 カリキュラムが不適切
- 2 研修内容が不適切
- 3 研修時間が少ない
- 4 研修施設・設備が不十分
- 5 教材が不適切
- 6 指導技法が不適切
- 7 研修生の研修意欲が不十分
- 8 指導者の不適切
- 9 指導者の配置が不十分
- 10 指導者と研修生との人間関係
- その他（具体的に： _____）

【研修の問題点】

問31 いままで、研修生を受け入れて、どんな問題がありますか（○はそれぞれ2まで）。

非実務研修

- 1 研修生の能力に合った研修計画が立てづらい。
- 2 委託先の確保が難しい。
- 3 外部への委託費用が高い。
- 4 非実務研修期間が短い。
- 5 社内に適任の講師がいない。
- 6 社内にテキスト教材が不足している。
- 7 社内に研修室を確保するのが難しい。
- 8 日本語研修の内容が、現場とかけ離れた内容になっている。
- 9 専門基礎研修の内容が、現場とかけ離れた内容になっている。
- 10 その他（具体的に：)

実務研修

- 11 研修生の能力に合った研修計画が立てづらい。
- 12 実務研修期間が短い。
- 13 社内に適任の指導員がいない。
- 14 社内にテキスト教材が不足している。
- 15 機械・設備の確保が難しい。
- 16 けがをしないように安全作業の確保に苦勞する。
- 17 研修生に技能習得の意欲が見られない。
- 18 研修生の日本語能力が劣っている。
- 19 その他（具体的に：)

その他

- 20 研修職種と全く違った職歴の研修生が派遣されてくる。
- 21 研修生が、夜間のアルバイトをする。
- 22 他の従業員とのコミュニケーションがうまくいかない。
- 23 文化の違いによるトラブルが発生した。
- 24 企業側のスケジュール通りに研修生の受け入れができない。
- 25 その他（具体的に：)

次の問32～問34については、技能実習へ移行している企業にお聞きします。

【技能実習への取組み】

問32 技能検定試験（認定評価システム）のため、どんな対策をとりましたか（○はいくつでも）。

- 1 実技試験課題の反復練習
- 2 専門学科の要点を復習
- 3 受入れ団体主催の準備講習会に派遣
- 4 他の企業から具体的内容の情報収集
- 5 研修生の独学
- 6 その他（具体的に：)
- 7 特別にとらなかつた。

外国人研修生の職業訓練に関する実態調査
聞き取り調査票

(企業用)

事業所名	
面談者(職名)	
調査委員名	

調査結果は、調査研究報告書の中で公表いたしますが、企業名は公表いたしませんので、調査にご協力の程よろしくお願ひします。

問1 貴社の概要について、お尋ねします。

業 種	
従 業 員 数	人
研 修 生 受 入 れ 職 種	
H7年の研修生受入れ人数	人

問2. 受入れ体制について、お尋ねします。

(1) 今までの受入れ回数と受入れ国は、

受 入 れ 回 数	回
受 入 れ 国	

(2) 研修生受入れ理由は、何ですか。

(3) どこからの協力を得て受入れを行いましたか。
(団体との関係、県の受入れ事業との関係等)

問3. 研修生の仕上がり像(研修目標)について、お尋ねします。

- ・ 帰国までに研修生に「この程度のことは身につけて欲しい、できるようになって欲しい」というものは、何ですか。
- ・ 「帰国後、こうなって欲しい」と研修生に期待するものは、何ですか。

問4. 非実務研修の実施形態についてお尋ねします。

(1) 団体が実施した教科目は何ですか。

また、どれを外部に委託して研修を実施しましたか。

(2) 貴社が実施した教科目は何ですか。

また、どれを外部に委託して実施しましたか。

問5. 社内での指導体制についてお尋ねします。

貴社には、専任の研修担当者は、何人置いていますか。

人

研修担当責任者の職位は、何ですか。

現場で直接、研修生を指導した人は、何人ですか。

人

研修生は、現場では何人ごとに分かれて研修を受けましたか。

人

問6. 現場での指導方法について、お尋ねします。

(1) 配属当初、教えた作業は、何でしたか

(2) どんな手順で教えましたか

(3) どんな方法で教えましたか。

1) 書いて、身振り・手振り、言葉で

2) 言葉は、何を使って話しかけましたか。

日本語、母国語、英語、その他 ()

(4) 主に何を使って、作業の説明をしましたか。

絵、図、ビデオ、OHP、実物、その他 ()

問7. 研修生の修得状況の把握の仕方について、お尋ねします。

(1) どんな方法で把握しましたか。

(2) どんな視点で修得状況を判断しましたか。

(3) 次の作業ステップに進ませるやり方は、どのようにして決めていましたか。

問8. 指導上の留意点について、お尋ねします。

研修生は、言葉が充分に通じないので、短期間に仕事（技能）を覚えさせなくてはならない等、様々な制約がありましたが、指導していく上で、特に意識した点、工夫した点は何でしたか。

問9 外国人研修生を受け入れて、何かご意見がありますか。

(研修成果、問題点、改善点等を)

外国人研修生の職業訓練に関する実態調査 (能力開発施設用)
聞き取り調査票

施 設 名	
面談者 (職名)	
調査委員名	

調査結果は、調査研究報告書の中で公表いたしますが、施設名は公表いたしませんので、調査にご協力の程よろしくお願いします。

問1. 今までの実施状況について、お尋ねします。

年度	実施回数	延べ人数	受 入 国
H6			
H7			

問2. 指導体制について、お尋ねします。

(1) 外国人研修担当の指導員は何人いますか。

嘱託指導員	正規指導員	計
人	人	人

(2) 指導員一人当たりの担当時間数は、平均何時間ですか。

_____ H/W・1指導員

(3) 1コース当たりの研修生の人数は、平均何人ですか。

_____ 人/1コース

(4) 1コース当たりの理想の研修生の人数は、何人ですか。

_____ 人/1コース

問3. 各教科の対応について、お尋ねします。

(1) どんな教科を実施しましたか。

(2) 各教科は、誰が教えましたか。(該当欄に○を)

教 科	部内指導員	部外講師	部内+部外
安全衛生			
専門基礎			
専門基礎実技			
日本語			

問4. 指導方法について、お尋ねします。

(1) 何の教科目を教えましたか。

(2) どんな手順で教えましたか

(3) どんな方法で教えましたか。

1) 書いて、身振り・手振り、言葉

2) 言葉は、何を使って話しかけましたか。

日本語、母国語、英語、その他 ()

(4) 主に何を使って教えましたか。

絵、図、ビデオ、OHP、実物、その他 ()

問5. 研修生の修得状況の把握の仕方について、お尋ねします。

(1) どんな方法で把握しましたか。

(2) どんな視点で修得状況を判断しましたか。

問6. 指導上の留意点について、お尋ねします。

研修生は、言葉が充分に通じないので、短期間に仕事(技能)を覚えさせなくてはならない等、様々な制約がありましたが、指導していく上で、特に意識した点、工夫した点は何でしたか。

* 外国人研修生を受け入れて、何かご意見がありますか。

(研修成果、問題点、改善点等を)